

項目	内容
名称	ヤムイモ、ワイルドヤム [英]Wild yam [学名]Discorea villosa
概要	<p>ヤムイモは、熱帯、亜熱帯性気候の地域で自生する植物で、北部、中央部アメリカ原産。落葉性の蔓性の多年草で、ハート型の葉と小振りの緑色の花を付ける。使用部位は根と塊根で、秋に収穫され、アフリカ・熱帯アジア・ラテンアメリカなどで主食として栽培されている。同属の別種が多く存在するが、ここでは<i>Discorea villosa</i>についての情報を記載する。</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<p>・ジオスシン、ジオスゲニン、グリコシドサポニン、β-ステロール、アルカロイド、タンニン、でんぷんを含む (101) (PMID:17887511) (PMID:15513824) (PMID:18646278)。</p>
分析法	<p>・HPLCもしくはGSを用いて分析される (PMID:15513824)。 ・ジオスシン誘導体を蒸発光散乱検出器に結合した遠心分配クロマトグラフィーにより分取分離した報告がある (PMID:18646278)。</p>
有効性	
ヒ 循環器・ ト 呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。

での評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	<p>メタ分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2010年6月までを対象に3つのデータベースで検索できた臨床試験について検討したシステマティックレビューにおいて、ブラックコホシュ、イソフラボン、レッドクローバー、ダイズ、ビタミンE、朝鮮人参、トウキ、メマツヨイグサ油、ヤムイモ、カバ、メラトニンを代替医療としてそれぞれ単独使用することが、更年期女性のホットフラッシュに与える影響との関連は認められず、長期使用の安全性データが不十分であった (PMID:20833608)。 <p>RCT</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉経後の女性23名 (平均53.3±1.1歳、オーストラリア) を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化プラセボ対照試験において、ワイルドヤムのクリームを3ヶ月間外用させたところ、ホットフラッシュの症状に影響は認められなかった (PMID:11428178)。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳

(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)

(33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ

(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)

[\(PMID:17887511\) Magn Reson Chem. 2007 Nov;45\(11\):1001-5.](#)

[\(PMID:15513824\) Int J Toxicol. 2004;23 Suppl 2:49-54.](#)

[\(PMID:18646278\) J Sep Sci. 2008 Jul;31\(13\):2486-91.](#)

[\(PMID:11428178\) Climacteric. 2001 Jun;4\(2\):144-50.](#)

[\(PMID:9277414\) Am J Physiol. 1997 Aug;273\(2 Pt 1\):G355-64.](#)

[\(PMID:18808387\) Nephrology \(Carlton\). 2009 Feb;14\(1\):70-9.](#)

[\(PMID:18662738\) Food Chem Toxicol. 2008 Sep;46\(9\):3122-31.](#)

[\(PMID:20833608\) J Am Pharm Assoc \(2003\). 2010 Sep-Oct;50\(5\):e106-15.](#)